

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	アセスメントの重要性と多機関連携の在り方				
資質向上に関する指標（文科省）	生徒指導 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	プログラム指標 (しまだい)	子ども支援		
キャリアステージ	自立・向上期(1～10年目)	○	研修レベル	基礎(学部1・2年レベル)	○
	探究・発展期(10～20年目)	○		応用(学部3・4年レベル)	
	充実・円熟期(20年目以降)	○		発展(大学院レベル)	
開設日	令和7年8月7日(木)	時間数	6時間	定員	30名
会場	山陰教員研修センター (島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設)	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	講義、演習	対象校種	全校種		
		対象教科	全教科		
実施方法	対面(集合型)	対象職種	教諭、養護教諭 広く学校教育関係者		
担当講師	<p>藤原 建 (島根大学教職大学院 特任教授)</p> <p>山澤 重美 (元境港市教育委員会スクールソーシャルワーカー、元鳥取県米子児童相談所長)</p> <p>岡崎 茂 (境港市教育委員会スクールソーシャルワーカー、元島根大学教職大学院 特任教授、元境港市立第二中学校長)</p> <p>松尾 直樹 (島根大学教職大学院 教授)</p>				
研修内容	<p>本研修では、多様化、複雑化している子どもの課題に対応した支援を行うために、アセスメントが重要であり、効果的であることを理解する。それとともに、心の問題や子どもたちの置かれている環境の問題が絡み合う課題に効果的に対応していくための多職種連携を踏まえた福祉職の専門性を理解し、それを活用する視点を身に付ける。連携を意図したアセスメントやプランニングの事例演習をしたうえで教職員がチームで子どもたちの支援を行うことの重要性を意識づけるとともに、教師としての専門性と役割を認識する。</p>				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	8:40～9:00	受付			
	9:00～9:10	オリエンテーション			
	9:10～10:40	SSWの職務と役割(含:要対協・機関連携・SSW的視点)			
	10:40～12:00	アセスメント・プランニングの事例演習			
	13:00～14:30	演習「模擬校内ケース会議」			
	14:30～16:00	シンポジウム「教育と福祉の連携」			
16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時				
研修に関して各自準備するもの	特になし				
事前課題	シンポジウムにおいて検討してほしい事例があれば、事前に下記メールアドレスまで提出してください。				

その他

- ・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。
- ・当日の駐車場は、**附属義務教育学校前期課程校庭**です。南側入口からお入りください。
- ・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。  
[fujihara\\_tk@edu.shimane-u.ac.jp](mailto:fujihara_tk@edu.shimane-u.ac.jp) まで、ご連絡ください。